



素晴らしい立志式！

1月29日（金）10時から、津幡南中学校体育館で立志式が行われました。津幡町長、教育長など町の関係者が来校し、素敵な立志式となりました。立志の主張の代表生徒である、1組 福岡詩乃さんと、2組 木戸李紀さんは、大きな声で堂々と主張してくれました。また、2年生の生徒も姿勢を崩す生徒が1人もいない、立派な式となりました。とても素晴らしい立志式でした。



大人へ決意新た
立河北都市で

河北都市3市町で29日
立志式がそれぞれ行われ、
中学2年生が自立への誓い
を新たにしました。

津幡
津幡町の式典は津幡中、
津幡南中でそれぞれ行われ、
2年生約360人が自立を誓った。例年は文化会館で合同で行っていたが、
新型コロナウイルス対策として会場を各中学校に分けた。

津幡中では山村唯登さんと中村麻衣花さん、津幡南中では木戸李紀さんと福岡詩乃さんが立志の主張として今後の目標などを発表した。矢田富郎町長が両校で式辞を述べた。

第7回（1月）英単語テスト満点者です

1月21日（木）の朝、全校一斉で英単語テストが行われました。2年生にとっては、7回目の英単語テストです。3学期最初の英単語テストだったためか、各自しっかりと勉強していたようです。満点者は、以下のとおりです。第6回に比べると、満点者の人数は学年全体では118人で、先月と全く同じ人数でした。また、80点未満の不合格者は学年全体で6人から10人と少し増加しました。ご家庭でも、毎月行われる英単語テストのテスト勉強への更なる応援や励ましなどをよろしくお願いいたします。

1組

相川 凜桜
上田 優斗
卜部 瑠衣樹
大石 蓮太
九野 心愛
澤野 龍太郎
宿野 柑奈
高井 辰仁
辻 莉子
長澤 大晟
中村 未琉
中本 侑吾
納口 心瑠
橋 昌希
福岡 詩乃
細川 菜都
松浦 菜央
松本 彩楓
水上 樹子
箕崎 秀佑
森原 蒼介
藪下 陽向
山道 翼
山本 修聖
渡邊 翔太

2組

泉 好華
小川 ひろ
小齋 梨珠
笠野 心羽
亀田 直樹
木戸 李紀
藏野 愛音
越野 陽一朗
小村 聖也
坂田 結菜
清水 琉々
田中 菜々美
谷本 奏輔
寺坂 優希
中川 陽喜
中田 結希
中村 ひな
中村 真凡
乗地 葉月
林 優真
飛龍 一颯
松岡 敦也
宮田 架
谷内 康太
田 由汰
山八 海翔
山本

3組

五十嵐 彩乃
市谷 美沙
稀 紙谷 菜々
岸 玲斗
新出 まりん
竹本 汐凧
道井 琥珀
西川 桜牙
西村 翔和
野村 和愛
英 実佑
細山 りょう
松村 遥
松本 和佳奈
南 明香里
宮田 結衣
村田 真唯
安岡 莉愛
吉田 匠伍
吉田 響
渡辺 祥太



4組

池本 創
泉 里桜
今江 心亮
岡田 笙吾
奥村 玲央
金崎 奈々
刈本 真優
川村 和香
川本 項太
久保 流輝
藏谷 友哉
小倉 姫菜
坂下 明優
高本 彩海
竹越 愛実
硯光 優來
中川 勇斗
野々山 仁
宝泉 花緒
前田 優菜
宮田 千妃
山岸 理紗
山本 蒼悟
和沢 辰樹

5組

荒井 晴登
池野 隼人
今野 湊大
上田 暖奈
上村 優依
岡島 銀冶
加藤 俊航
川崎 那梨
岸本 那颯
北崎 唯人
島内 愛來
道井 実里
永江 煌士
中塚 光里
橋場 杏吉
松井 望希
道下 奈々
三野 綾華
村田 蒼南
焼田 珠梨
渡部 慎介



私たちはコロナ差別をしません！！

1月22日（金）5限目に、各クラスの会長と副会長によって「コロナ差別に関する授業」を行いました。これは、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、全国的に、感染された方や濃厚接触者、医療従事者やその家族、物流を支える運送業者などが、「うわさ話」や「心ない言葉」、「差別やいじめ」などにより、心に傷を負ったり、住みづらくなったりする事例が出ていることから、コロナ差別の現状を知り、差別をしない心を育てる目的で行われました。そのためには、何か形にできないかと考え、「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨に賛同し、このプロジェクトを学年や家庭に広めていきたいと考えました。「シトラスリボンプロジェクト」とは、愛媛県の有志グループによって生まれ、現在全国的に広



まっているプロジェクトです。シトラス色のリボンや専用のロゴを身につけたり掲示したりして、「ただいま」「おかえり」と受け入れられる思いやりのある気持ちを広めようというものです。リボンの3つの輪は、「地域」と「家庭」と「職場もしくは学校」を示しています。

生徒たちは、その趣旨を理解し、シトラスリボンを作成しました。現在、教室後ろの掲示板的個人ポケットに掲示しています。ご家庭でも「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨にご賛同し、リボンを作成して「コロナ差別」のない世の中になることを共に願ってほしいと考えます。

コロナ禍の中での差別や偏見をなくそうとする「シトラスリボンプロジェクト」に津幡町津幡南中学校の二年生百六十七人が賛同し、寄り添う気持ちを表現するためのシトラスリボンを作った。

同校によると、プロジェクトは愛媛県の有志グループが始めた。愛媛特産のかんきつにちなみ、シトラス色のリボンや専用のロゴを身につけたり、掲示したりして思いやりの気持ちを広

めている。生徒たちはいじめの撲滅に取り組み学校全体の活動の一端として、学年主任の山口健一教諭の発案で参加。荷造り用のひもを使い、リボンに仕上げた。医療従事者取材したテレビ番組のビデオも見て、差別や偏見について考えた。加藤俊さんは「自分自身も差別や偏見に気づけた。このプロジェクトがもっと広がってほしい」と話していた。（島崎勝弘）

コロナ禍 差別、偏見やめて

津幡南中 シトラスリボン運動参加



1月28日（木）北陸中日新聞朝刊に掲載

生徒たちが作ったシトラスリボン＝津幡町津幡南中で



「シトラスリボンプロジェクト×津幡南中学校2年生」

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、全国的に、感染された方や濃厚接触者、医療従事者やその家族などが、「うわさ話」や「心ない言葉」、「差別」などにより、心に傷を負ったり、住みづらくなったりする事例が出ている。

このよう中、愛媛県の有志グループ「ちよびつと19+」による「シトラスリボンプロジェクト」が生まれ、このプロジェクトは、愛媛県特産の柑橘（ミカン科・ミカン亜科のキンキツ属・キンカン属・カラタチ属に属する植物の総称）にちなみ、シトラス色のリボンや専用のロゴを身につけたり掲示したりして、「ただいま」「おかえり」と受け入れられる思いやりのある気持ちを広めようというものです。

津幡南中学校2年生も、このプロジェクトの趣旨に賛同し、「シトラスリボンプロジェクト」を学年や家庭に広めていきたいと考えています。

一人でも多くの皆さんに賛同いただき、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と思いあえる家庭や地域になるよう、シトラスリボンの輪を広げていきたいと思ひます。

リボンの3つの輪は、「地域」と「家庭」と「職場もしくは学校」を示しています。

～ シトラスリボンの使い方 ～

シトラスリボンを身につけたり、おうちの玄関、学校の掲示版などに掲示したりしてみてください。温かい言葉とともに贈りあうのもよいかもしれません。

「コロナ差別、偏見なくそう」

思いやりリボンに込め

津幡南中2年生製作

津幡町津幡南中の2年生約170人は22日、コロナ禍の差別や偏見がなくなるよう願いを込めたリボンを作った。製作をきっかけに家族と話し合うなどして思いやりの心を伝える。

リボン作りは愛媛県の有志グループが始めた「シトラスリボンプロジェクト」に賛同して行われた。リボンの3つの輪は、地域と家庭、職場・学校を意味し、感染者や医療従事者に対する偏見がなくなるよう願いが込められている。

2年生は約50枚のひもを曲げてリボンを作った。発案したプログラム委員会の加藤俊さんは「思いやりの心を大切にする取り組みを広げていきたい」と話した。同委員会は昨年12月、金沢医科大学の医療従事者に感謝を伝える寄せ書きを贈った。

1月24日（日）北国新聞朝刊に掲載

差別がなくなるよう願いを込めたリボン
—津幡町津幡南中